



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日 東

上場会社名 共立印刷株式会社 上場取引所
 コード番号 7838 URL <http://www.kyoritsu-printing.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉持 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 佐藤 尚哉 (TEL) 03-5248-7800
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	35,361	11.6	1,844	21.7	1,668	23.6	1,029	33.3
27年3月期第3四半期	31,694	3.8	1,515	△5.4	1,349	△7.5	772	△12.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,028百万円(27.3%) 27年3月期第3四半期 807百万円(△23.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	21.18	21.11
27年3月期第3四半期	15.89	15.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	48,171	15,398	31.9
27年3月期	41,524	14,882	35.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 15,355百万円 27年3月期 14,862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
28年3月期	—	5.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	14.0	2,540	16.3	2,250	15.5	1,430	23.7	29.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	48,630,000株	27年3月期	48,630,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	149株	27年3月期	149株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	48,629,851株	27年3月期3Q	48,629,851株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、アメリカの金融政策正常化や中国経済の先行き等の影響が懸念されておりますが、個人消費は底堅く、企業収益も改善傾向にあり、緩やかな回復基調にあります。

こうした環境のなか当印刷業界におきましては、雑誌市場が低迷するなか、受注単価の下落も下げ止まらず、大変厳しい経営環境が続いております。

こうした状況下にあつて、当社グループは、工場において生産性の向上に取り組むとともに、新規設備の導入により生産体制の幅を広げることで受注量の確保に努めております。また、平成27年8月に子会社化した株式会社西川印刷につきましても、徐々にではありますが当社とのシナジー効果が出てきております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、353億6千1百万円となり前年同四半期と比べ36億6千6百万円(11.6%)の増収、営業利益は、18億4千4百万円となり前年同四半期と比べ3億2千9百万円(21.7%)の増益、経常利益は、16億6千8百万円となり前年同四半期と比べ3億1千8百万円(23.6%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、10億2千9百万円となり前年同四半期と比べ2億5千7百万円(33.3%)の増益となり、増収増益となりました。

(売上高)

売上高は、353億6千1百万円となり前年同四半期と比べ36億6千6百万円(11.6%)の増収となりました。

商業印刷につきましては、一部でチラシの発行回数減少やカタログの部数減少がありましたものの、宅配型の通販カタログが好調なことに加え、流通チラシの受注量増加やダイレクトメールの定期媒体化等により、前年同四半期比36億3千6百万円(16.0%)増加し、263億2千3百万円となりました。また、平成27年8月に子会社化した株式会社西川印刷の業績につきましても堅調に推移しています。

出版印刷につきましては、育児雑誌の新規獲得や教育関連書籍の受注はありましたものの、書籍等を中心に出版市場低迷の影響を受け、前年同四半期比4千1百万円(0.5%)減少し、80億6千8百万円となりました。

(営業利益)

営業利益は18億4千4百万円となり前年同四半期と比べ3億2千9百万円(21.7%)の増益となりました。これは、売上高の増加に加えて、生産性向上による収益の増加やコスト管理の徹底に努めたこと等によります。

(経常利益)

経常利益は、16億6千8百万円となり前年同四半期と比べ3億1千8百万円(23.6%)の増益となりました。これは、営業利益の増加に加えて、営業外収益のその他に含まれる雑収入が増加したこと等によります。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

親会社株主に帰属する四半期純利益は、10億2千9百万円となり前年同四半期と比べ2億5千7百万円(33.3%)の増益となりました。これは、子会社の株式会社暁印刷が文庫本用の輪転機を新設したことによる既存設備の固定資産除却損が発生したものの、経常利益が増加したこと等によります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて20.8%増加し、238億4千3百万円となりました。これは、現金及び預金や、受取手形及び売掛金が増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11.7%増加し、243億2千4百万円となりました。これは、株式会社西川印刷の子会社化に伴い、建物及び構築物を始めとする有形固定資産が増加したこと等によります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べて48.5%減少し、3百万円となりました。これは、株式交付費が償却により減少したことによります。

これらの結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて16.0%増加し、481億7千1百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23.8%増加し、184億8千万円となりました。これは、支払手形及び買掛金や、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金が増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて22.0%増加し、142億9千3百万円となりました。これは、長期借入金が増加したこと等によります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて23.0%増加し、327億7千3百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、153億9千8百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、引き続き受注競争の激化による受注単価下落や製造原価の高騰が見込まれますが、設備の更新による生産性の向上やコストの削減を図るとともに、付加価値の高い印刷物の社内生産に取り組むことで受注拡販と利益の確保に取り組んでまいります。

当連結会計年度(平成28年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高490億円、営業利益25億4千万円、経常利益22億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益14億3千万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、
前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っ
ております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,534,258	12,177,578
受取手形及び売掛金	8,853,049	9,861,219
たな卸資産	1,093,753	1,469,405
その他	353,073	486,010
貸倒引当金	△101,778	△150,259
流動資産合計	19,732,356	23,843,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,026,068	13,427,827
減価償却累計額	△6,241,127	△6,939,323
建物及び構築物(純額)	5,784,940	6,488,503
土地	5,498,386	5,793,905
リース資産	6,972,952	7,892,903
減価償却累計額	△2,148,210	△2,764,306
リース資産(純額)	4,824,741	5,128,596
その他(純額)	1,570,153	2,558,968
有形固定資産合計	17,678,222	19,969,974
無形固定資産		
のれん	1,732,622	1,914,814
その他	79,513	124,563
無形固定資産合計	1,812,135	2,039,377
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	-	9,251
その他	2,506,471	2,517,933
貸倒引当金	△211,277	△211,879
投資その他の資産合計	2,295,194	2,315,306
固定資産合計	21,785,552	24,324,658
繰延資産	6,396	3,293
資産合計	41,524,305	48,171,906

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,932,135	10,069,468
短期借入金	-	1,600,000
1年内償還予定の社債	-	84,000
1年内返済予定の長期借入金	3,400,724	4,068,856
未払法人税等	324,399	312,517
賞与引当金	314,162	189,072
その他	1,958,283	2,156,105
流動負債合計	14,929,705	18,480,020
固定負債		
社債	-	32,000
長期借入金	6,519,266	8,594,766
リース債務	4,524,735	4,808,378
退職給付に係る負債	639,691	667,098
資産除去債務	-	32,516
その他	28,261	158,758
固定負債合計	11,711,953	14,293,517
負債合計	26,641,659	32,773,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,335,810	3,335,810
資本剰余金	3,329,940	3,329,940
利益剰余金	7,626,675	8,121,506
自己株式	△27	△27
株主資本合計	14,292,397	14,787,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	603,310	604,331
退職給付に係る調整累計額	△33,240	△35,798
その他の包括利益累計額合計	570,070	568,532
新株予約権	20,178	42,607
純資産合計	14,882,646	15,398,368
負債純資産合計	41,524,305	48,171,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	31,694,886	35,361,845
売上原価	27,430,384	30,292,258
売上総利益	4,264,501	5,069,587
販売費及び一般管理費	2,748,651	3,224,609
営業利益	1,515,849	1,844,977
営業外収益		
受取配当金	29,425	27,468
その他	10,980	18,042
営業外収益合計	40,406	45,510
営業外費用		
支払利息	200,502	217,551
その他	6,272	4,699
営業外費用合計	206,775	222,250
経常利益	1,349,481	1,668,238
特別利益		
投資有価証券売却益	13,624	14,123
その他	1,304	-
特別利益合計	14,928	14,123
特別損失		
固定資産除却損	4,720	16,539
投資有価証券評価損	31,856	5,963
特別損失合計	36,577	22,502
税金等調整前四半期純利益	1,327,832	1,659,859
法人税等	555,184	630,100
四半期純利益	772,647	1,029,759
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	772,647	1,029,759

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	772,647	1,029,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,317	1,020
退職給付に係る調整額	△2,453	△2,558
その他の包括利益合計	34,864	△1,537
四半期包括利益	807,511	1,028,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	807,511	1,028,221
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。